

前橋工科大学 シラバス

開講学科	建築学科	実務家科目	—		
科目名	建築史Ⅲ（日本建築史）	標準対象年次	選択／必修	科目コード	
		3年次	選択	140101201	
担当教員	臼井敬太郎	単位数	学期	曜日	時限
		2単位	前期	木曜日	5時限
授業の教育目的・目標	<p>日本建築の展開をたどり、先人が時代や社会とどう向き合い、建築と環境を整えてきたかを学び、これからの創造行為について考える土台を構築する。</p> <p>①時代や社会の要求に、建築はどのように応えてきたのかについて検討する。</p> <p>②いかに機能と形態が気候風土と結びついているのかを学ぶ。</p> <p>③現代において、どう伝統建築を位置づけるべきかを考える。</p>				
学科の学修・教育目標との関係	建築設計者・技術者として必要な基礎知識を持っている。				
キーワード	日本建築史、宗教建築、木造建築				
授業の概要	<p>建築史Ⅲでは、建築様式の時代的な変化を概観しながら、日本の建築における構造、技術、意匠の創出を、当時の社会状況との関係から捉え直す。先史時代から培われた、伝統的建築の歴史的展開を主題とし、今日における建築創造に生かす知見を修得する。</p>				
授業の計画	<p>第1回：日本建築史を学ぶこと</p> <p>第2回：古墳時代までの建築の展開</p> <p>第3回：神社建築の成立</p> <p>第4回：神社建築の遷移</p> <p>第5回：飛鳥奈良時代の建築形式</p> <p>第6回：飛鳥奈良時代の建築構法</p> <p>第7回：平安時代の建築形式</p> <p>第8回：平安時代の建築構法</p> <p>第9回：平安時代の住宅</p> <p>第10回：中間試験</p> <p>第11回：鎌倉時代の建築形式</p> <p>第12回：鎌倉時代の建築構法</p> <p>第13回：中世以降の神社仏閣</p> <p>第14回：中世以降の住宅</p> <p>第15回：全体のまとめ</p>				
受講条件・関連科目	<p>受講条件：建築史Ⅰ、建築史Ⅱの履修。3年次に受講することが望ましい。</p> <p>関連科目：建築史Ⅰ、建築史Ⅱ</p>				
授業方法	<ul style="list-style-type: none"> ・講義ではスライドを使用し、視覚的に理解できるように配慮する。 ・毎回小課題を課し、講義内容の理解度を深める。 				
テキスト・参考書	<p>参考書：「日本建築様式史」（太田博太郎監修、美術出版社）、「建築の歴史」（藤井恵介他著、中央公論新社）、「日本建築史図集 新訂第三版」（彰国社）</p>				
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> ・中間試験（40%）、中間レポート（20%）、期末レポート（40%）。 				
履修上の注意					